

ライチョウってどんな鳥？

ライチョウは、国の特別天然記念物であり、また富山県の県鳥でもある貴重な鳥ですが、立山登山などの際、運がよいと近くで見ることができると、私たちにとてもたいへん親しみ深い鳥です。

ライチョウって一体どんな鳥なのでしょう。

実は、キジの仲間で、季節によって羽根の色を変えるのも大きな特徴です。雷の鳴るような悪天候の日によく姿を見せて鳴くことから、「雷の鳥」「雷鳥」といわれるようになりました。

彼らが日本にやってきたのは氷河期の頃、陸続きだった大陸より渡ってきたといわれています。やがて氷河期が終わると、暑い所が苦手な彼らは寒い高山地帯に移り住み、厳しい自然環境の中で暮らしてきました。ライチョウが「氷河時代の生きた化石」といわれるのはこのためです。世界のライチョウ分布をみると、北アルプスが生息の南限にあたります。

ライチョウの雄と雌を見分け方は、目のまわりに赤いとさかや黒いアイシャドー（過眼線）のあるのが雄です。人間と違って雄の方がおしゃれなんですね。今度ライチョウを見たら、雄雌の見分けに挑戦してみてください。

